

令和2年11月臨時部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和2年11月10日（火） 午前8時35分から午前10時27分まで
- ◇会 場 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、長野市保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、公有財産活用局長、市長公室長及び関係課職員

◇会議内容

1 協議事項

（1）所有権移転登記等請求事件の和解応諾について（建設部）

標記事項について、建設部長から説明し、協議を行った。（資料1参照）

○質疑

〔上下水道事業管理者〕資料の写真をみると、道路内に水路が施工されているが、この工事の際に境界立会いを行って隣接地主の同意を得なかったのか。また、水利組合長が、用水路敷地を侵害されたと主張しているようだが、水利権者の同意は得られていないのか。

〔建設部長〕境界立会いを行った経過はあるが、水利権者の同意がなく成立していなかった。裁判では、水利権者の同意の有無がポイントになると考えていたが、裁判所はこの点には触れず、時効取得が論点となっており、時効取得は認めざるを得ないと判断している。

〔上下水道事業管理者〕水利組合の理解が得られるような対応をした方がよいのではないかと。

〔建設部長〕境界立会いの機会があれば、そのような対応を考えたいと思うが、裁判所は水利権者の同意の必要性について一切触れていないので、水利権者の主張は実際には認められないのではないかと感じている。

○今後の方向性

原案を了承

（2）令和2年12月市議会定例会提出議案について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料2参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（3）令和2年度12月補正予算（案）について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明し、協議を行った。（資料3参照）

○質疑

〔副市長〕昨年度から事務補助員を幾つかの園に配置しているが、今回導入する保育業務のICT化にも維持費がかかってくる。そうすると、両方使っていくことは困難になるので、今回導入するシステムを中心に業務改善を図る体制にしていてもらいたい。

〔こども未来部長〕事務補助員の配置は、園長や保育主任の保育業務以外の業務に関する負担軽減のためのもので、今回のタブレットの導入は、保育司の書類作成などの負担を軽減するためのものである。期待される効果が異なるので、どちらか一つということになると現場の負担は解消されない。そのため、この件については、検討させていただきたい。

〔財政部長〕時間外の勤務の削減につながらないと導入するメリットがないので、この点については特にお願いしたい。

〔子ども未来部長〕時間外勤務の削減には、しっかりと取り組んでいく。なお、保育司の書類作成の負担の問題は、公立だけでなく私立でも課題となっている。私立では、国の補助を活用して導入が進んだが公立では遅れており、今回、導入に至ったものであることはご理解いただきたい。

〔市長〕このシステムで、毎日の連絡帳の記載もできるのか。

〔子ども未来部長〕連絡帳については、手書きの方がよい、手書きの方が早いといった意見が、保護者を含めてあるので、要検討であると考えている。

〔市長〕子どもの成長を記録に残してデータ化できれば、一目で成長を見ることができる。将来的に、そのようにできればよいと考える。

〔子ども未来部長〕データ化できる部分はデータ化して、災害などにより使えなくなることはないようにしていきたい。

〔市長〕水道事業についても今後を見据えたロードマップを描き、できるだけ縮小する方向で考えてもらいたい。

〔財政部長〕市バス等の運行補助についても、今後の方向性を検討してもらうよう依頼している。

〔市長〕市バスだけでなく、各地区の乗合タクシーも利用率が低い。例えば、まとまった金額を住民自治協議会に預けて、その中で普通のタクシーを使ってもらうようにした方が利用するのではないかと。やはり、使い勝手が悪ければ利用しない。地区の実情に合わせた方法を考え、思い切って見直すことも必要ではないかと。

〔都市整備部長〕検討する。

〔上下水道局長〕犀川浄水場の運転管理業務委託については、通常5年契約のところ、今後の地下水利用を見据えて今回は3年間の委託期間に見直した。

〔副市長〕今回導入するシステムも含め、今後は基本ソフトを自分たちの仕事のやり方に合わせてカスタマイズするのではなく、仕事のやり方を基本ソフトに合わせるようにしていってもらいたい。そうしないと、デジタルトランスフォーメーションは成功しない。

○今後の方向性

原案を了承

（４）第２次障害者基本計画等の案に対するパブリックコメントの実施について （保健福祉部）

標記事項について、保健福祉部長から説明し、協議を行った。（資料４参照）

○質疑

〔地域・市民生活部長〕地域に相談支援事業所のない中山間地域では、障害者の相談にどのように対応していくのか。

〔保健福祉部長〕最近の相談内容は複合的なものとなってきており、一つの事業所で相談を受けても解決できない。そのため、複合的な相談を受ける場所を北部と南部に設け、基幹相談支援センターがそこにアドバイスすることを考えている。しかし、一番の課題は、相談に対応する人材の不足であり、人材の確保や育成を進めながら、ある程度集約して対応していきたいと考えている。

〔保健所長〕今後、精神障害者に対する支援が大きな柱になると思う。そこに配慮をお願いしたい。また、基本計画の目標値にアンケート結果を使っているものがあるが、これは必ずしも実情を反映していないおそれもあるので、客観的な数値があるなら、そちらを使った方がよい。

〔保健福祉部長〕数値については、意見を参考に検討したい。また、精神障害や発達障害への対応は重要な課題だと認識している。先ほど説明したとおり、手帳の所持者も増加しているので、保健所とも連携して対応していきたい。

○今後の方向性

原案を了承

(5) 令和3年度国民健康保険料率の改定の方針について（保健福祉部）

標記事項について、保健福祉部長から説明し、協議を行った。

○今後の方向性

再検討を要する。

2 その他

(1) 信更保育園の休園について（こども未来部）

標記事項について、こども未来部長から説明を行った。（資料5参照）

○質疑なし

(2) (仮称) 若穂スマートインターチェンジの実施計画書の公表について

(建設部)

標記事項について、建設部長から説明を行った。（資料6参照）

○質疑

[副市長] 整備効果の説明があったが、多額の費用をかけて設置するものなので、効果があるということを示すことが非常に大事になる。産業系、防災系など、関係部局で効果的な活用方法を検討してもらい、整備効果の最大化を図りたい。

[建設部長] 関係部局と連携して対応していきたいので、協力をお願いする。

[財政部長] 一般財源の比率が高い事業なので、埋蔵文化財の調査費用を縮減するなどしていただきたい。

[建設部長] 担当課と協議していく。

(3) 大規模風水害時における救助体制の強化について（消防局）

標記事項について、消防局長から説明を行った。（資料7参照）

○質疑なし

以上